

「こごう！学ぼう！三方五湖サイクリング」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
20名	25名	25名	23名

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・三方五湖周辺の秋の自然に親しむ。
- ・三方五湖の現状や歴史などを学ぶ機会にする。
- ・サイクリングを通して、安全な自転車運転を意識づける。

◆期日・期間

令和元年9月21日（土）～9月23日（月・祝）〈2泊3日〉

◆連携機関

福井県立三方青年の家（共催）

福井・岐阜・愛知・滋賀・京都 各府県教育委員会・美浜町教育委員会・若狭町教育委員会
福井県年縞博物館・若狭町の語りべ・若狭三方五湖観光協会

◆参加者分析

昨年度は、4・5年生を対象に募集を行っていたが、今年度は、4～6年生まで対象を広げて募集を行った。今年も、近隣の府県にも広報した。20名を募集したところ予定を超える25名の応募があったが、応募者全員を受けることにした。地元福井県からの参加者が最も多かったが、京都府、滋賀県、大阪府、愛知県など近隣の府県からの参加者もあり、この活動が近隣の県に広がりつつある。また、昨年も参加した子どもが4名もいたことは嬉しい。

事後のアンケートを見ていると、「事業の内容がおもしろそうだから」という項目を選んでいる子どもが多かった。また、「友達に誘われて」や「親に勧められて」という声もあった。

◆企画のポイント（日程・特色など）

三方五湖は施設がある小浜市の東隣、若狭町とその隣の美浜町にまたがって位置する5つの湖である。それぞれが違う水質の湖で、湖を望む梅丈岳からはその湖の表情がすべて違つて見える。

また、三方五湖にある2つの湖の水月湖と久々子湖をつなぐ浦見運河は、江戸時代に当時の奉行行方久兵衛が治水のために掘り進めた人工の川がある。

このように、自然環境や歴史の点からも三方五湖について学べることが大変多く、ただ単に自転車をこいで三方五湖を1周して自然を満喫するだけでは勿体ないと考え、三方五湖について知識を深める学習の要素も取り入れることにした。

学習の要素としては、地元、若狭町の語りべの方にお世話になり、浦見運河と行方久兵衛について学ぶこととした。また、福井県立三方青年の家と共に、三方青年の家を出発と到着地点として活用することで、時間に余裕をもって活動内容も充実できると考えた。

また、三方青年の家が所有するボートで、浦見運河を見学する行程を組み込んだ。実際に、ゴムボートで浦見運河の様子を近くで見ることで、人力で削ったことやまっすぐではなく曲がっていることに気づかせたいと考えた。

◆〈日程〉

9月 21 日 (土)													13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
													受付	はじまりのつどい	アイスブレイク	梅丈岳から三方五湖を望む	三方五湖について学ぼう①	浦見運河と行方久兵衛	夕食・ベッドメイキング	入浴	オリエンテーション①	就寝準備・健康観察
9月 22 日 (日)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22					
	起床・洗面・着替え	朝食	荷物準備	サイクリング① 三方青年の家スタート	【三方湖・水月湖】	サイクリング	浦見運河をボートで見学①	昼食・休憩	菅湖・三方湖】	【日向湖・久々子湖・	サイクリング② (時間に余裕あり見学)	福井県年縞博物館見学	くつろぎタイム	夕食	入浴	オリエンテーション②	就寝準備・健康観察	就寝				
9月 23 日 (月・祝)	6	7	8	9	10	11	12	13														
	起床・洗面・着替え	朝食	掃除・荷物準備	オリエンテーション③	【日向湖一周】	サイクリング③	・ふりかえり・	昼食	おわりのつどい・解散													

◆運営のポイント

- 福井県三方青年の家を全体のスタート、ゴール地点として三方五湖を1周するコースを設定。
- サイクリングの途中で、浦見運河に立ち寄り、行方久兵衛が切り開いた浦見運河をボートで近づき、削った形跡を見学するように設定。
- サイクリングにかかる安全対応については、「安全対応」の冊子を作り、緊急時には職員の共通理解のもと対応ができるようにした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

<参加者>

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	87%	13%	0%	0%
この事業の運営はどうでしたか	65%	35%	0%	0%
「行方久兵衛と浦見運河」のお話を聞く活動はどうでしたか。	43%	48%	9%	0%
三方五湖を1周するサイクリングはどうでしたか	96%	4%	0%	0%

4満足 3やや満足 2やや不満 1不満

(2) 参加者の声

- サイクリングを楽しめた。
- サイクリングをしている時、風が吹いて気持ちよかったです。
- サイクリングは、疲れたけど楽しかった。

- サイクリングは、疲れたけど、みんなで協力できて楽しかった。
- 景色や自然が堪能できて、楽しかった。
- いつもはあまりしないことなので、いい経験になった。
- もう1週まわりたい。
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話は、よくわかった。
- 「浦見運河と行方久兵衛」のことは、知っていることもあったけど、知らないこともあって楽しかった。
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話は、知らない話で、歴史を感じられた。
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話について、簡単にまとめて話してくれてわかり易かった。
- ボートにまた乗りたい。
- 年縞のことや意味が知れてよかったです。
- いつもは、三方五湖について何も気にしていなかったけど、
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話は、大体わかったけど、難しい。
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話が長かった。
- 「浦見運河と行方久兵衛」の話がわかりにくかった。

4. 成果と課題

(1) 成果

- サイクリング中、参加者はボランティアの先導で活動することとしたため、安心してサイクリングに集中することができた。
- 職員は、事前の計画に沿って危険個所や誘導個所に立ち、参加者の安全に努めることができた。
- 浦見運河ではボートに乗って、掘った様子を間近で見ることができ、当時の人の苦労を体感することができた。
- 三方青年の家と共に催になり、三方青年の家があるボート活動を取り入れることができた。また、連携どることができ、余裕を持って活動することができた。

(2) 課題

- 「行方久兵衛と浦見運河」の講義は、学年によって理解が難しかった。そのため、難しく感じる子もいれば、学校で習ったことの復習になった子もいた。
- 子どもたちへのふりかえりの方法や考えをまとめさせる方法など、この事業が教育的によりよく、そしてさらに深みのある事業となるには改善の余地がある。

(3) 総括

今回は、福井県立青年の家と共に催しての活動になった。三方青年の家を拠点としていることで、早めのスタートができ、時間に余裕をもってサイクリングをすることができた。

サイクリング前日のオリエンテーションで、自転車の走行についてや安全運転について確認し合う機会を作ることで、各自が責任をもって活動に取り組むことができた。

1日目に、全体を把握するために、梅丈岳に上りサイクリングコースと浦見運河の場所を確認することができた。時間に余裕ができたこともあり、三方青年の家の隣の施設「年縞博物館」を見学することができた。そこでは、施設の方に年縞の話をしてもらい三方五湖の良さを知ることができた。

2日目は、班ごとにボランティア2名が参加者の前後につき、サイクリングのサポートに携わった。そうすることで、三方五湖を安全に1周することができた。

3日目は、前日に話し合いで決まった日向湖を1周し、浦見坂を通るサイクリングを安全に走破することができた。

また、福井県立三方青年の家が所有するボートで今回の学習した行方久兵衛が切り開いた浦見運河を間近で見たり、班でボートを漕いだりとサイクリングだけでなくほかの活動も取り入れることができた。

それと、今回の参加者の半分が初めて事業に参加した結果だった。活動拠点簿場所やボート活動など、子どもたちが興味のあるものだと考えられる。今回、共催することで、お互いのよい部分を出し合い事業に生かすことができた。今後もほかの施設と協力して、事業をより良いものにしていこうと感じた。

5. 活動の様子 写真 【はじまりのつどい】



【アイスブレイク】



【レインボーラインから三方五湖を眺める】



【語りべの方から行方久兵衛の話を聞く】



【三方五湖サイクリングの様子】



【浦見運河での活動の様子】



【福井県年縞博物館での活動の様子】



【認定書授与】

